

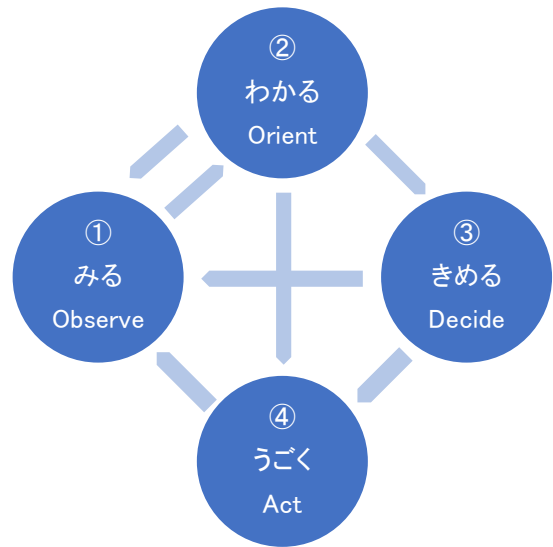
## OODAループとは

「ウーダループ」と読み、近年アメリカを中心に、ビジネス分野での課題解決のために使用されるようになった理論。

### ○特徴

意思決定のための方法  
 迅速で正確な意思決定が可能  
 想定外の事態に強いとされる。

- ①みる・観察する  
客観的なデータを集め、整理する。
- ②わかる・情勢判断する  
状況を整理して仮説を立てる。
- ③決める  
仮説をもとに解決方針を決定する。
- ④動く・実行する



- ⑤①～④を高速で回す（ループさせる）。  
失敗を許容（致命的な失敗でなければよい）  
同時並行が理想。定型的な場合はショートカットも可（①②→④）  
「行動しない」場合もある（①②③→①）

図の出典：OODA ループ思考入門  
 （入江仁之：ダイヤモンド社）

### ○PDCAとOODA

PDCA まず計画（Plan）を立て、実行（Do）した結果をフィードバックし（Check）、もとの計画を修正（Action）していく。段階を踏む  
 現状の業務やプロセスから課題を抽出し、既存の問題を「改善」する。

OODA 客観的な状況判断のもと、的確な意思決定を高速で行う。  
起業や新規事業といった明確な正解の見えない事業や変化がめまぐるしい状況下に最適。

PDCA サイクルと OODA ループの体系的比較

	PDCAサイクル	OODAループ
不確実性	低い	高い
命令のタイプ	タスク型	ミッション型
タスク	反復的	創発的
対応の重点	事前対応	事後対応
データ	予測	事実
専門性・特殊性の要求	低	高
行動に関する判断	上位判断	現場判断

※比較表の出典：OODA Management（原田 勉：東洋経済新報社）